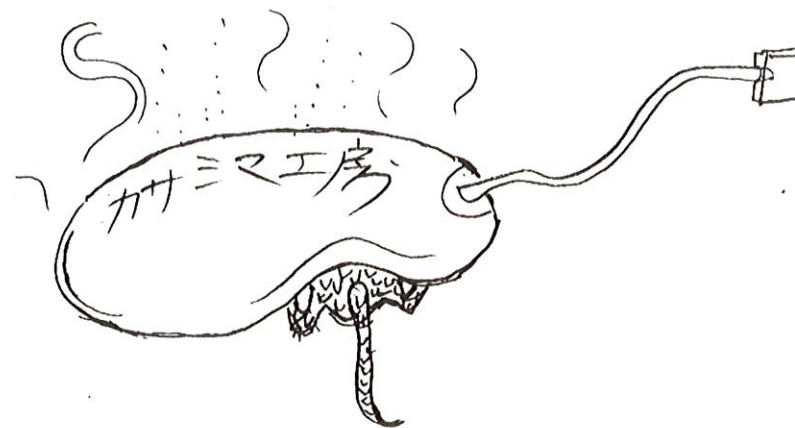


のある暮らし

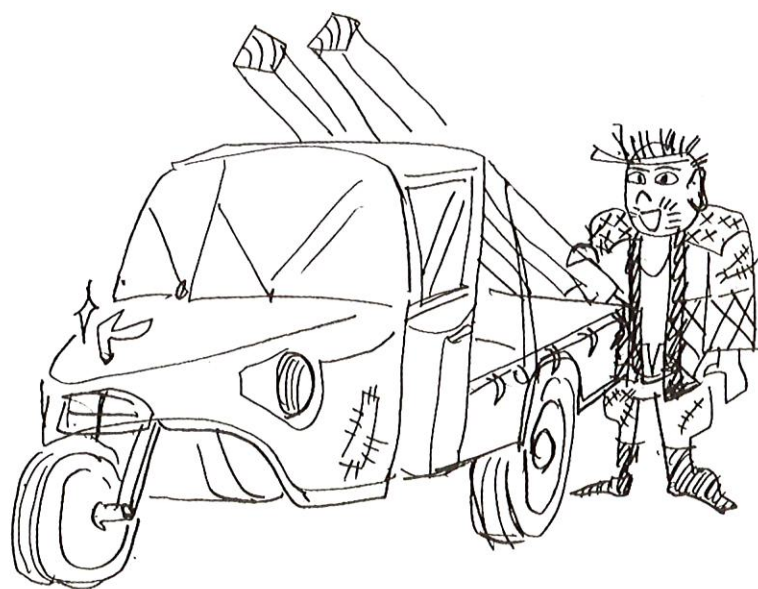
今回は寒さ対策に重宝するあったかグッズ！USBでどこでも温まれるシート型ホットマット「INKO Heating Mat Heal」をご紹介します。世界初の特許技術、銀ナノイオンを発熱素材としたUSBヒーターです。直径27cm、薄さ1mmの肌触りの柔らかい素材で、くるっと巻いて簡単に収納でき、モバイルバッテリーでも稼働するので、オフィスなどの屋内はもちろん、レジャーやアウトドアでも気軽に利用できます。操作も簡単で、ワンタッチコントローラーで電源オン/オフと三段階（47℃、43℃、38℃）の温度調節が可能。約12時間が経過すると自動で電源がオフとなる「自動OFF」機能があるので、万が一、電気をつけたまま



外出しても安心です。電磁波も発生しないので、お子様やお年寄り、ペット用としてもいいですね。ちなみに価格は4,950円（税込）です。この冬、あなたもポケットにモバイルバッテリーを忍ばせて、スマートな温もりを！ [グラフィックデザイナー：D]

木のある暮らし

11月に京都、金沢への出張があり、京都の古材の店に訪れました。店内には柱、梁、板、建具、欄間などが細かく分類され、一つひとつ質感や色味、手触りなども確認でき、すべての古材に番号と金額が書かれています。日本のものだけでなく、東南アジア、アメリカなど海外の古材も並んでおり、機械のこ（帯のこ）の目が粗く残っているものなど味のある古材を厳選して仕入れているようです。店主の方にお話を伺ってみると、昔は一般的な建材も扱い、工務店を相手に身を粉にして働



いていましたが、二代目である現在の店主が受け継いでから配達の建材、木材の販売はやめ、今のスタイルになったとのことでした。



カサシマ

〒007-0891
札幌市東区中沼西1条2丁目2-5
電話：011-792-4388
FAX：011-792-4377
E-mail:mail@kasashima.co.jp

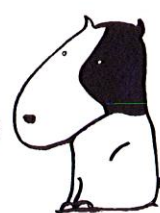


間伐で未来につなぐ北の森

カサシマ工務舎

http://www.kasashima.co.jp/

カサシマ通信



第28号

令和2年12月21日
発行元/カサシマ工務舎

古材再活用、はじめました



古民家を解体した古材を使い、まずは木のカバン作りに取り掛りました。140年以上も経っている古材は個性的な雰囲気を醸し出します。文字をプリントしたパネルをはめ込んだところ、古材の個性とケンカしているようにも思えたので、次にアルミの薄いパネルを張ってみました。フレームの組み方は枡組です。機械加工は、ミャンマー実習生ライミン君が行いました（お父さんは大工をしているそうです）。一つのカバンを構成するパーツは、フレーム用木材、丁番、取手、側パネル、パッチン金物、ゴム（脚）、塗料、パネルをアレンジするシート、金物もこだわり鍵を付けました。シートは様々な模様、質感のものが100円ショップにもあり、手軽に入手することができます。



カサシマ

職人のこだわり ~ベンチレーター~

今回はベンチレーター施工例をご紹介します。太平モデルハウスでは、2階のキッチンと反対の部屋にある窓の部分には、ベンチレーターという造作窓を組み込みました。ベンチレーターという聞き慣れない名称に、戸惑う方々も多い事でしょう。かなり砕いた言い方をしますと通気性のある雨戸の様な物です。雨天の時などに開放しておく、窓を開け閉めしなくても換気出来る便利な代物です。外から見ると半分壁の様に見える為、ベンチレータを開放したまま外出しても問題ありません。

太平モデルハウスは、今回めでたく買付けの話が入りましたので、実物をご覧いただくことはできないのですが、ベンチレーターに興味のある方は当社にお問い合わせください。



サエキ スガワラ



▲上がクローズ、右がオープン。雨や雪の日の換気に便利

危険情報

～「ヒートショックに注意」～

こんにちは！カサシマ工房の秋本です。今回は健康面での危険情報をお伝えいたします。あるコラムによると、交通事故の死亡率と住宅内のお風呂での死亡率を比較したところ、お風呂内での死亡率のほうが4倍ほども高いそうです。主な原因はヒートショック。ヒートショックとは、「急激な温度差により血圧が大きく変化すること」です。これが原因で失神、脳梗塞、心筋梗塞を引き起こす要因となり、転倒してケガをしたり浴槽内で溺れることもあります。実は私の義父も入浴中に意識を失い、浴槽内で溺れて亡くなりました。古い住宅は、



お風呂やトイレに暖房がなく、寒い思いをされてる方もいらっしゃると思います。簡易暖房など利用して温度差を減らすよう気をつけましょう。



アキモト



イラスト：ノンコ（消しゴムはんこをモデルハウスで販売しています）

アフターレポート

24年前に施工した住宅で「玄関天井より雨漏れがする」と報告を受けました。調査すると屋根上に設置したデッキの縦ドレンが泥ゴミでつまり、雨水が流れきらずにあふれ出し、横トイから板金部分(摺り部分)にブローしていました。またデッキの重みで(支柱)板金に亀裂が入っていて、そこから雨水が浸入しているようでした。直し方としては、デッキを外して、板金の吹替とトヨの清掃を行ってデッキを再び設置、デッキ床に新たに点検孔を設けることで、毎年掃除・点検ができるように改修しました。この工夫を新築施工時にも役立てたいと思います。



ハンバ



補助金情報

～「道産建築材利用支援事業」(北海道)～

北海道内で生産・加工された木材の利用促進を図るため、道産材で建築物の新築・改築を行う事業者に対して助成が行われています。木をふんだんに使った家づくりを考えている方は、通常よりもお得に新築・リフォームが可能なので、この機会にぜひご相談ください。

■補助対象／

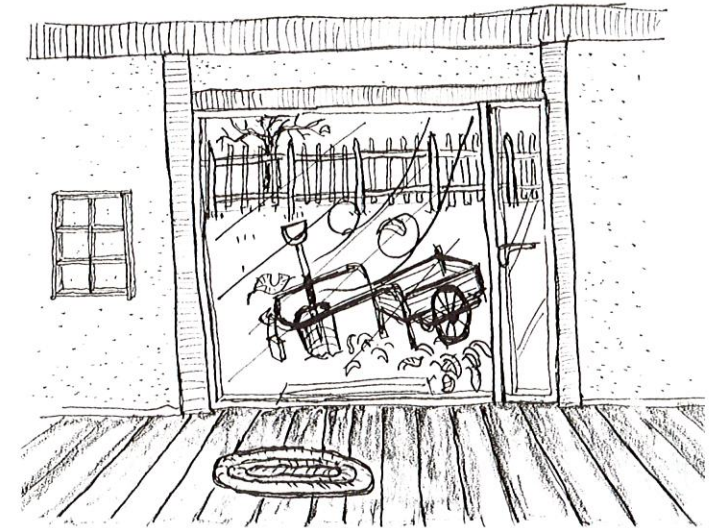
- ①～令和3年3月19日までに工事に着手し、令和3年12月31日までに完成する民間の建築物
- ②建築物の施工に必要な木材利用量全体の30%以上に道産木材を利用すること（使用木材は合法木材または森林認証材。主要構造部に用いる木材はJASの格付けを受けた

- 含水率20%以下の乾燥材であること)
- ③道産木材を補助対象とした国費を財源とする補助を受けていないこと
- ④施主の同意が得られること
- ※助成については審査があるため、応募しても交付を受けられない場合があります。

木材の種類や利用量に応じて補助額が異なりますので、詳細については当社スタッフへお尋ねください。



ナカムラ



つれづれ日記

当社には現在、大量の古材が入荷しています。昔の住宅に使用されていた140年以上前(明治初期～)のもので、大変迫力があります。最近古材の風合いを活かした内装や家具が注目されているので、当社の技術を活かして様々な加工ができそうで楽しみです。

先日、仕入れた古材の調査を長谷川課長と行いました。実際に使われていたであろう農機具やクワ、建具、棚、箆笥などがあり、ふと箆笥の引き出しを開けてみると、そこには着物が入っていました。気になって他の引き出しも開けてみると、なんと4つの引き出しすべてにびっしりと着物が入っていました。何年も前に生活していた人のドラマをちょっと感じた気がしました。

古材に興味のある方がいらっしゃいましたら、何なりとお申し付けくださいませ。



ハヤカワ

